

〜〜〜胃内視鏡検査を受けられる方へ〜〜〜

検査当日は

までの間に受診して下さい。

☆ 上部消化管電子内視鏡検査とは

- ・直径1cm程の管の先にテレビカメラが付いたものを食道・胃・十二指腸の中に入れて粘膜の状態を診る検査。
- ・検査目的：①小さな病変を早く見つけて治療する。②紛らわしい病気を区別して治療方針を立てる。(生検)

☆ 検査方法

【A】経口的胃内視鏡検査

開発当初は「飲み込むには太くて苦しい」と言われましたが現在では直径9mm大まで細くなっています。さらに高画質の超小型テレビカメラを組み込んで、鮮明な画像で検査が受けられるようになり、機能的には検査から治療（内視鏡的粘膜切除術）まで行えます。

①消泡液（胃の中の泡を消す薬）を服用

②喉の麻酔をする。

- ・ゼリー状の表面麻酔を3分程口に含む。
- ・表面麻酔のスプレーを喉に2・3回噴霧。

※ 希望により鎮静剤を使用し検査後1〜2時間程ベッドで休む。

鎮静剤を希望される方は、注射の影響が残ります。車、バイク、自転車等でお越しにならず、必ず公共の交通機関を使ってご来院下さい。

〈検査前日〉

1. 前日の夕食は消化の良い普通の食事を午後9時頃までに済ませてください。その後少量の水は飲用可。
2. 血液をサラサラにする薬（ワーファリン、バファリン、バイアスピリン、パナルジンなど）を服用している方は中止する必要はありません。

〈検査当日〉

3. 当日の朝は絶飲絶食・禁煙です。但し、常用している薬は朝早めに内服してください。
4. 来院されたら咽喉の麻酔をして検査となります。（検査は約10分程度）

〈検査後〉

5. 喉の麻酔がとれるまでは食事をしないでください。
6. 胃を膨らますために入れた空気が腸に残るのでお腹が張った感じや鈍い痛みがあるかもしれませんがゲップやガス（おなら）が出れば楽になります。
7. 注射（鎮痙剤）を使用した方は、排尿が少し困難になったり、多少まぶしいことがあります。
8. 注射を使用する事がありますので車、バイク、自転車等の運転は禁止です。

☆ 合併症

出血・腸穿孔などの偶発症（約0.1%以下）、薬による副作用、検査による喉の痛みなどがあります。

注1）治療が必要な場合、薬の処方がありますので、“健康保険証”を必ず持参してください。

注2）キャンセル・変更等については、早めに各自で連絡してください。

森クリニック TEL (092) 291-2270